

Find de understregede i gloselisten på side 2 (efter teksten).

日本人が <sup>まいにち</sup>毎日 つかっている 文字には、かんじと、ひらがなと、かたかなが あります。ローマ字も ありますが、文の中では あまり つかいません。かなは、ことばの <sup>おと</sup>音を あらわしま。たとえば、「まど」の「ま」という 音は、「まえ」の「ま」と おなじです。しかし、かんじは、かなと ちがって、いみも あらわします。たとえば、「木」は「き」という 音をもっていますが、「tree」という いみも あります。「気」も「き」と よみますが、いみが ちがいます。

かんじは、中国で 生まれた <sup>ふる</sup>古い 文字です。日本人は、1700年 ぐらい <sup>まえ</sup>前に、かんじを <sup>し</sup>知りました。かんじを 知る 前に、日本には 文字が ありませんでした。日本人は、中国語の はつおんに ちかう <sup>かた</sup>よみ方で、かんじを よみました。たとえば、「水」は「すいと よみました。しかし、日本語にも、おなじ いみを あらわす「みず」という ことばが ありました。今、「水」には よみ方が 二つ あります。「すい」という よみ方は、音よみと いて、「みず」という よみ方は、くんよみと います。

日本人は、はじめ、かんじ だけで 文を 書きました。しかし、この やり方は、あまり よくありませんでしたから、あとで、かなを つくって、つかいました。かたかなは、かんじの いちぶを とって、つくりました。

---

## 単語

文字 – もじ – tegn

文 – ぶん – sætning

音 – おと – lyd

あらわす – angive, repræsentere

X と おなじ – det same som X

X と ちがう – forskellig fra X

いみ – betydning

たとえば – for eksempel

はつおん – udtale

よみ方 – læsning (=læsemåde)

音よみ – おんよみ – 'kinesisk' læsning (af kanji)

くんよみ – 'japansk' læsning (af kanji)

やり方 – måde at gøre det på

いちぶ – en del